

卒業学年の皆さんへ

山形市長 佐藤 孝弘

山形市教育長 荒澤 賢雄

小学校、中学校、高等学校それぞれの卒業学年をむかえた皆さん。皆さんは、困難な状況の中でも、最高学年としての責任をもって学校全体を引っ張ってくれていることと思いますが、この3か月間、何を思って生活していましたか。行きたいところへ自由に行けず、友達とも気軽に会うことができないような日々は、私たち大人でも経験したことはありません。また、大きな大会が軒並み中止になったり、学習がいつもどおりに進まなかったりして、目標をもって生活することが難しくなっている人や不安になっている人も多いのではないのでしょうか。

人間は、長い歴史の中で様々な困難を知恵と経験で乗り越え、常に発展し続けてきました。人は、生まれながらにして気づく力、学ぶ力をもっているのです。私たちも、この自粛期間じしゅくを通して、普段当たり前ありがた前に感じていたことの有難さに気づきました。考えてみれば、学校で仲間と過ごす事は決して当たり前ではなく、とても特別なのです。私たちは、毎日、大切な人と特別な時間を過ごしているのです。友達や先生、お家の方など身近な人の存在に感謝しながら、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

学校行事や受験のことなど不安なことがあれば、一人で悩まず、先生や身近な大人に相談してください。そして、目の前の課題に丁寧に取り組み、自分自身の夢の実現に向けて、一歩ずつ前進して欲しいと願っています。

私たち大人にできることは、未来あるあなたたちをサポートしていくことです。大変な中でも、前向きに夢をもって努力し続けてほしいと思います。精一杯頑張る皆さんを、私たちは全力で応援します。

